

< たかまる過程 > (全 1 8 時間)

第 1 6 時

中間発表会でお互いに情報交換しよう

平成 年 月 日 (曜日) 第 T 1 () 校時 T 2 () 4 年生教室

第 1 7 時 ~ 1 8 時

自分の追究活動を振り返ろう

平成 年 月 日 (曜日) 第 T 1 () 校時 T 2 () 4 年生教室

1 目標

中間発表会で、自分の調べたことを自信をもって発表できるようにするとともに、友だちの発表から良いところを学ぶ。

2 評価の観点

友だちと協力して学習できる力

3 評価基準

友だちの良いところや助言を取り入れたり、逆に適切な助言ができるなど、協力して学習することの良さを進んで取り入れようとする。

友だちと協力して学習したことを、自分の追究活動に生かしていこうとする。

お互いが高め合えるように、上手に意見交換や情報交換が出来る。

意見交換や情報交換が出来る。

4 評価の視点

自分の追究してきたことを自信をもって発表できるように、発表用のワークシートの工夫をしたり、今までの観察評価による追究活動の実態から、子ども一人一人に応じた発表内容に対する具体的な支援を、言葉かけ・会話などによって行う。

自分自身の学びを振り返り、交流会に向けての自分自身の目標への意欲を強化できるように、中間発表会や情報交換などの交流の場を設定するなど、自己評価を工夫する。

友だちと協力して学習できるように、中間発表会や情報交換などの交流の場を設定するなど、相互評価を工夫する。

中間発表会では保護者の参加を呼びかけ、外部評価を行う。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、基準で実態把握し、特記事項を個人カード 1 に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード 2 に評価の観点にそって基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。

5 準備

ワークシート (こんな自分になりたいなカード、ふりかえりカード、発表用ワークシート、友だちへのアドバイスカード)、クリアファイル、ファイルボックス (ポートフォリオ用)

第16時 自分の追究活動をふりかえろう

活動の概要

今まで追究活動してきたことを、中間発表会で自信をもって発表できるようにするとともに、友だちの発表から良いところを学び、自分の追究活動を振り返られるようにする。

予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・つづやき)	評価の方法・目的 【4観点】(時間)
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自信をもって上手に発表できるようにがんばろう!</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>中間発表用ワークシート(No.11)に発表する内容をまとめておいたり、それをもとに練習したりするなど、一人一人が事前に自信をもって上手に発表できるように支援をT1がしておく。 上手に発表したり、しっかり発表を聞いたり出来るように、教室環境など場の設定を工夫する。 次時で意見交換や情報交換が出来るように、ワークシートに友だちの発表の良いところやアドバイスなどをメモするように指導する。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おうちの人も来てくれて、ドキドキするな。 手話による会話をまちがえないで出来るように落ち着いてやるぞ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はずかしがらないで出来るようにがんばるぞ。</p> </div> <div style="text-align: right;">(5分)</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>T1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>T2 (ビデオカメラ)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【 】 友だちと協力して学習したことを、自分の追究活動に生かしていこうとする。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発表ごとに質問や感想の時間もとれるよう配慮する。 全員が発表した後、保護者が参加していた場合、感想などを話してもらうなど、外部評価を取り入れる。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もうちょっとくわしく聞きたいこととか、感想を言ってあげられる人がいたら、どんなことでもいいから自信をもって発表しよう。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一人一人上手に発表できましたね。この調子でがんばってください。</p> </div> <div style="text-align: right;">(35分)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(5分)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>T1 T2</p> </div> </div>

7. 個人別の発表内容に関する評価

名前	発表内容と実態把握 (T 1)	教師の願い及び支援 (T 2)
A	君と模造紙にまとめて聴導犬のことなどを発表	追究活動とのつながりが無いが、2人で協力して発表することの良さを発見できるように、言葉かけなどの適切なアドバイスをしたい。
B	あいさつを手話でやることになりましたが不安・・・	確実に身に付けられるように、一緒に練習してあげるなどしてあげたい。
C	県名を手話で発表。	なぜ県名を手話で発表するかという思いがわからないので、目標に向けての理由や、今後の計画についての見通しなどを明確に出来るように投げかけたい。
D	聴導犬のことを調べて分かったことを読む。	ただ調べたことを読むのでは、自分がたてた目標とのつながりが無いので、なぜ聴導犬のことを発表するのかということや、追究活動への見通しがもてるように、投げかけたい。
E	聴導犬のことを調べて分かったことを読みます。歌を進めたけれどやらない。	ただ調べたことを読むのでは、自分がたてた目標とのつながりが無いので、なぜ聴導犬のことを発表するのかということや、追究活動への見通しがもてるように、投げかけたい。
F	聴導犬の資料を拡大コピー。なかなかまとめられず発表が不安・・・	今までの追究活動に目標に対する計画性がまったくみられなかった。中間発表会を通しての相互評価や自己評価から、自己の追究活動の態度への振り返りを期待したい。
G	手話を歌で一生懸命やっていた。ほとんど覚えられた。	一人で歌を発表するということで、自信をもってできるようにビデオの配置や発表の場の雰囲気などを配慮したい。
H	挨拶を手話でやります。彼なりに取り組んでいる。	最初の交流会での自己紹介からどれだけ進歩したかという充実感や満足感を味わい、これからの追究活動への意欲がさらに高まることを期待したい。
I	君と模造紙にまとめて聴導犬のことなどを発表。	2人で協力して発表することの良さを発見できるように、言葉かけなどの適切なアドバイスをしたい。
J	挨拶、指文字を手話で発表。	最初の交流会での自己紹介からどれだけ進歩したかという充実感や満足感を味わい、これからの追究活動への意欲がさらに高まることを期待したい。
K	本の感想・耳の聞こえない人の生活について発表。ビデオでちゃんと歌の発表。一生懸命やっていた。	発表内容から、これからの計画の見通しをよりはっきりもち、さらに広く深く追究活動が進められるように見守りたい。歌の発表は、自信をもってできるように、ビデオの配置や発表の場の雰囲気などを配慮したい。
L	本の紹介。手話で自己紹介。一人で黙々とやっていました。	発表内容から、これからの計画の見通しをよりはっきりもち、さらに広く深く追究活動が進められるように見守りたい。
M	ビデオの歌のこと・本の感想・耳が聞こえない人の生活について分かったことを発表。一人で黙々とやっていました。	発表内容から、これからの計画の見通しをよりはっきりもち、さらに広く深く追究活動が進められるように見守りたい。
N	手話で自己紹介。ちゃんとビデオで歌の発表。一生懸命やっていました。	発表内容から、これからの計画の見通しをよりはっきりもち、さらに広く深く追究活動が進められるように見守りたい。歌の発表は、自信をもってできるように、ビデオの配置や発表の場の雰囲気などを配慮したい。

第17～18時 自分の追究活動を振り返ろう

活動の概要

前時の中間発表会で、友だちの追究から学んだことをお互いに意見交換や情報交換などを行い、交流活動をおこなう。はじめに全体で一人一人が前時のワークシートに書いたメモを活用して発表する。次に自分が興味ある追究をした友だちやこれから同じ追究をする友だちと情報交換する。これらの活動から自分の追究活動をもう一度振り返り、後半の学習計画について自分なり見直しをもって修正する。時間が余れば、それぞれの追究活動をする。

予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・つぶやき)	評価の方法・目的 【4観点】(時間)
<div data-bbox="103 459 199 560"></div> <div data-bbox="252 495 1136 568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 友だちからたくさん良いところを学んで、自分の追究をもっともっと良くしていこう。 </div> <div data-bbox="119 616 853 851" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> はじめに全体で一人一人の発表しているところを録画したビデオを観て、自分や友だちの発表を冷静に振り返ることができるようにする。騒いだりしてビデオに集中できなかったり、表面的な見方で終わらないように、みんなでビデオを観る視点やマナーを指導したい。友だちのビデオを観る視点は、主に発表内容とする。ワークシートに自分の発表の感想をメモしておくよう指示しておく。 </div> <div data-bbox="949 645 1045 734"></div> <div data-bbox="1066 694 1173 721">T 1 T 2</div> <div data-bbox="1005 739 1396 795"> 【 】意見交換や情報交換が出来る。 </div> <div data-bbox="95 884 726 1041"> (40分) </div> <div data-bbox="742 896 1476 1019"> 自分の発表を観るのははずかしいけれど、ふるさと学習発表会では上手に発表したいから、自分の発表をしっかり観ておこう。 </div>	
<div data-bbox="247 1064 375 1187"></div> <div data-bbox="438 1108 933 1276" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 昨日の中間発表会で友だちから学んだことと、今観た自分のビデオの感想を発表し合おう。発表の後自由に意見交換や情報交換ができる時間を少しとります。 </div> <div data-bbox="103 1220 199 1321"></div> <div data-bbox="215 1355 1061 1512"> 手話で歌が歌えたら楽しそうだなと思いました。交流会で橋詰さんと楽しく交流できそうです。ぼくもみんなと一緒にがんばりたいです。自分の発表を観て、下を向いて発表しているので今度から気をつけたいなと思いました。指文字は便利そうだなと思いました。でもおぼえるのが難しそうです。ちゃんはすごいと思いました。自分の発表を観て、声が小さいのもっと大きな声で発表できるといいと思いました。 </div>	T 1 T 1 T 2
<div data-bbox="103 1411 199 1512"></div> <div data-bbox="119 1579 526 1780" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ちゃんのところへ行って、歌と一緒に練習しないか聞いてみよう。指文字をただおぼえるのでは橋詰めさんと交流できないから、ちゃんと会話の練習をするのがいいなあ。ちゃんは聴導犬のことがかわいいので、質問してみよう。 </div> <div data-bbox="542 1612 718 1713"></div>	自分の追究に関係あることで、友だちから教えてもらいたいことや、友だちのためになる情報があり自分から教えてあげるなど、主体的な交流活動の時間になるようにしたい。このあとふるさと学習発表会や2回目の交流会に向けて一人よりグループで追究していきたいという意見が出てきたら、グループ活動も支援できるようにしていきたい。

(40分)



計画が大きく変わってくるぞ。でも、まだどんなことをしたいかはっきりしないなあ。わかるところまで決めておこう。



T 1



T 1 T 2



(1 0 分)

< たかまる過程 > (全18時間)

第19時～20時

振り返りから新たな追究活動をしよう。平成 年 月 日(曜日)第 校時
 婦恋村 パソコン室 4年生教室
 T1 () T2 () T3 ()

第21時～22時

振り返りから新たな追究活動をしよう。平成14年 11月14日(木曜日)第5～6校時
 パソコン室 図書室 4年生教室
 T1 () T2 ()

1 目標

中間発表会を通して目標や計画を修正するなど自分自身の追究を振り返ったことから、ふるさと学習発表会に向けての新たな追究活動に意欲的に取り組み、今までの自分の知識を合わせたり、調べてわかったことからまねをしないで新しく自分の考えをつくれるようになる。

2 評価の観点

今までの自分の知識を合わせたり、調べてわかったことから、まねをしないで新しく自分の考えをつくる力

3 評価基準

進んで自分なりの考えから、さらにより良い考えをつくろうとする。
進んで自分なりの考えをつくりだそうとする。

今までと違う見方や考え方を取り入れながら、新しく自分の考えをつくることができる。
友だちのちがった見方や考え方の良いところを、自分の考えに取り入れることができる。

4 評価の視点

中間発表会で今までの自分自身の追究を振り返ったことから、より意欲的に新たな追究活動ができるように、今までの観察評価による追究活動の実態から、子ども一人一人に応じたより具体的な支援を、言葉かけ・会話などによって行う。

目標の達成のために、自分自身の学びに対する評価能力を高めていくことが出来るように、自己評価や相互評価、外部評価の方法を工夫する。

子どもの追究活動の実態に応じて、適宜「わからないことをいろんな手段で調べる力」や「パソコンやデジカメを上手につかえる力」なども、評価していきたい。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、基準で実態把握し、特記事項を個人カード1に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や指導要録の資料にするために、最後に個人カード2に評価の観点にそって基準で総合的評価を行い、特記事項を記入する。

5 準備

ワークシート(こんな自分になりたいなカード、ふりかえりカード、発表用ワークシート、友だちへのアドバイスカード)、クリアファイル、ファイルボックス(ポートフォリオ用)、手話関係ビデオ8巻、パソコン室、図書室、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ

6 展開

第19～20時 振り返りから新たな追究活動をしよう

活動の概要

中間発表会などを通して子どもたちは、これまでの追究活動について自分なりに自己評価している。ふるさと学習発表会に向けて追究活動していくことも意識しはじめている。そこで、修正した目標や学習計画から、新たな追究活動をおこなう。交流をしている聴覚障害者の職場見学をするグループ、インターネットで調べるグループ、本で調べるグループ、ビデオで手話を覚えるグループなど、コース別に追究活動をおこなう。

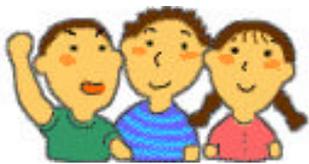


振り返りの反省から新たな追究をしていこう。

（3分）

コース別に追究活動をおこなう。橋詰さんの職場見学をする児童10名は、T1、T2が引率・支援する。インターネットや本、ビデオで追究活動をする児童4名は、T3が支援する。
職場見学の計画・準備は、子どもが主体的に出来るような支援を事前にT1がしておく。職場では他のお客さんの迷惑にならないように十分配慮する。

コース別の追究活動



コース1
橋詰さんが働いている職場を見学



耳が聞こえないのに、どんな風に仕事をしているのかな。発表の時に使いたいので、デジカメで写真を撮らせてもらおう。撮るときは撮ってもいいかきちんと断ろう。

職場見学なので、見学のマナーや安全管理などの事前指導を行い、いろいろな人の迷惑にならないよう配慮する。



コース2
インターネットで調べる



コース3
本で調べる



コース4
ビデオで手話を覚える



見学には行かないけど、本やインターネットからしっかり調べていくぞ。



T1、T2、T3

追究の実態による個別の評価項目

- わからないことをいろんな手段で調べる力
【 】 調べたことを自分なりに意味付けすることができる。
- 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。
- パソコンやデジカメを上手につかえる力
【 】 情報機器を楽しく活用している。
- 【 】 インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を使って調べることができる。

（80分）



T1、T2、T3

（7分）

共通の評価項目

- 【 】 進んで自分なりの考えをつくらうとする。
- 【 】 友だちのちがった見方や考え方の良いところを、自分の考えに取り入れることができる。

7. 個人別的评价項目
それぞれの追究活動の実態から、共通の評価項目の他に個別に評価項目を決めた。

名前	追究活動の方法	共通の評価項目 今までの自分の知識を合わせたり、調べてわかったことからまねをしないで新しく自分の考えをつくる力 【 】 進んで自分なりの考えをつくらうとする。
----	---------	---

		【 】 友だちのちがった見方や考え方の良いところを、自分の考えに取り入れることができる。
A	本「捨て犬みかんとポチ」	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 調べたことを自分なりに意味付けすることができる。
B	本	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 調べたことを自分なりに意味付けすることができる。
C	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。
D	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。 パソコンやデジカメを上手につかえる力 【 】 情報機器を楽しく活用している。
E	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。 パソコンやデジカメを上手につかえる力 【 】 情報機器を楽しく活用している。
F	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。 パソコンやデジカメを上手につかえる力 【 】 情報機器を楽しく活用している。
G	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。 パソコンやデジカメを上手につかえる力 【 】 情報機器を楽しく活用している。
H	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。
I	IT から職場見学に変更	パソコンやデジカメを上手につかえる力（IT） 【 】 課題解決のために自分なりに情報機器を活用することができる わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。
J	ビデオ（自己紹介の練習）	パソコンやデジカメを上手につかえる力（ビデオ） 【 】 情報機器を楽しく活用している。
K	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。 パソコンやデジカメを上手につかえる力 【 】 情報機器を楽しく活用している。
L	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。 パソコンやデジカメを上手につかえる力 【 】 情報機器を楽しく活用している。
M	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。
N	職場見学	わからないことをいろんな手段で調べる力 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。

第21～22時 振り返りから新たな追究活動しよう

活動の概要

前時に引き続いて、新たな追究活動をおこなう。ふるさと学習発表会が来週の水曜日に迫っているため、追究活動もふるさと学習の発表に向けて修正されている。子ども達が主体性を十分に発揮できる活動が期待される。

予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・つぶやき)	評価の方法・目的 【4観点】(時間)
<p style="text-align: center;">T 1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>ふるさと学習発表会に向けて追究していく中で、今日みんなにがんばってほしいことは、今まで追究してきたことから自分なりの新しい考えをしっかりとつくれることです。ふるさと学習発表会では、それを自信をもって発表できたら100点満点です！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>保護者からのアドバイスを学級通信等で紹介し、クラス全体で共有できるようにしたい。その際、ただ配布するだけでは読まない子どももいるので、導入などで活用したい。 子ども達に本時の学習のねらいをしっかりと伝えるために、評価の観点「今までの自分の知識を合わせたり、調べてわかったことからまねをしないで新しく自分の考えをつくらう！」を初めにわかりやすくアドバイスしたりけいじするなどしておさえおくようにする。 ファイルを整理することにより自分自身の追究を振り返り、目標に向けて自分なりの考えがしっかりとてできるようにしたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>自分のファイルボックスのファイルを整理したり、クリアファイルの中の特に必要なものをファイルボックスにもどしたりして、今後の追究活動で特に必要なものをファイリングする。</p> </div>	<div style="text-align: right;">T 1 T 2</div> <div style="margin-bottom: 10px;">   </div> <p>共通の評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 【 】 進んで自分なりの考えをつくらうとする。 【 】 友だちのちがった見方や考え方の良いところを、自分の考えに取り入れることができる。 <p style="text-align: right;">(15分)</p>
<p>コース別の追究活動</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>職場見学で撮ってきた写真やビデオを見直して、職場でのさんの工夫を整理してみよう。 自分たちがこれまで追究してきた中で、一番のしゅうかくは さんと仲良くなれたことかな？ ふるさと学習発表会で指文字や手話が上手に出来るようになるぞ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>一昨日の職場見学からわかったことを整理して、聴覚障害者の大変さをしっかりと考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>子ども達がふるさと学習発表会での発表のことも念頭において追究活動が出来るように、職場見学で子ども達自身が取材したビデオ映像や画像を、ビデオテープに簡単に編集しておいて自由に使えるようにする。 職場見学に行かなかった児童も、自主的に追究が出来るように見守り、適切な支援をしたい。</p> </div>	<p>追究の実態による個別の評価項目</p> <p>わからないことをいろんな手段で調べる力</p> <ul style="list-style-type: none"> 【 】 調べたことを自分なりに意味付けすることができる。 【 】 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。 <p>パソコンやデジカメを上手につかえる力</p> <ul style="list-style-type: none"> 【 】 情報機器を楽しく活用している。 【 】 インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を使って調べることができる。 <p style="text-align: right;">(80分)</p>
	<div style="text-align: right;">T 1 T 2</div> <div style="text-align: right;">(5分)</div>

< たかまる過程 > (全 1 8 時間)

第 2 3 時 ~ 2 4 時

今まで学んだことを上手に発表して、ふるさと学習発表会を大成功させよう

平成 年 月 日 (曜日) 第 校時
4 年生教室 T 1 () T 2 ()

第 2 5 時

ふるさと学習発表会 (学校行事)

平成 年 月 日 (曜日)
体育館 T 1 () T 2 ()

1. 目標
今まで追究してきた成果を、ふるさと学習発表会で工夫して発表できる。
- 2 評価の観点

学習した成果をみんなの前で工夫して発表できる力

3 評価基準

進んで発表の計画や準備に取り組み、わかりやすい発表の工夫を考えようとする。
楽しく発表の計画や準備に取り組もうとしている。

学習した成果をわかりやすく伝えるにはどのように発表したらよいか、聞く人の立場にたって考えることができる。
学習した成果をわかりやすく伝えるにはどのように発表したらよいか、自分なりに考えることができる。

わかりやすい発表を工夫するために、今までの発表経験を生かして、限られた時間の中で上手に計画や準備ができる。
わかりやすい発表を工夫するために、発表の計画や準備ができる。

聞く人に訴える発表をするために、生活との関わりから方法や内容の工夫を考えることができる。
聞く人に訴える発表をするために、自分なりに方法や内容の工夫を考えることができる。

4 評価の視点

職場見学で子ども達自身が取材したビデオ映像や画像や授業風景などの画像などを、教師側で子ども達が考えた発表内容に合わせてビデオテープに編集し、プロジェクターなどで使えるようにするなどの支援を行い、ふるさと学習発表会に向けての追究活動 (計画・準備) がより意欲的にできるようにする。

グループの中で一人一人が今までの追究活動の成果を十分に発揮できるように、導入で見通しのある簡単な計画を一人一人たてるようにしたり、机間指導で子ども一人一人に応じたより具体的な支援を、言葉かけ・会話などによって行う。

目標の達成のために、自分自身の学びに対する評価能力を高めていくことが出来るように、自己評価や相互評価、外部評価の方法を工夫する。

観点別評価は、活動が個別であったり時間外になったり一人一人多岐にわたるので、観察によって適時行ったり、ワークシートでの自己評価や発表会後の作文、外部評価などから総合的に行う。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、基準で実態把握し、特記事項を個人カード 1 に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード 2 に評価の観点にそって 基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。

5 準備 ワークシート (こんな自分になりたいカード、ふりかえりカード、発表用ワークシート、友だちへのアドバイスカード)、クリアファイル、ファイルボックス (ポートフォリオ用)、手話関係ビデオ 8 巻、パソコン室、図書室、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、ビデオデッキ、テレビ、ビデオプロジェクター (発表当日)

6 展開

第23～24時 学習した成果をみんなの前で工夫して発表できる力

活動の概要

ふるさと学習発表会で上手に発表するために、それぞれが計画している発表の準備や練習をする。授業時間外（朝の学級活動）などで話し合いなどを行い、発表会に向けての練習計画を決めた。発表時間は15分間なので、発表内容についての希望調査から4グループに分けて準備することになった。総合的な学習の時間だけでは準備出来ないことが予想されるので、放課後なども活動できるように配慮したい。また全員での手話による歌の発表は、朝と帰りの学級活動で少しずつ練習する。

予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い（発言・つばやき）	評価の方法・目的 【4観点】（時間）
<div data-bbox="103 427 199 539"> </div> <div data-bbox="430 421 475 448" style="text-align: center;">T 1</div> <div data-bbox="225 461 1233 562" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ふるさと学習発表会で上手に発表できるように、それぞれの発表の準備や練習をがんばろう。</p> </div> <div data-bbox="89 600 1002 808" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>初めに一人一人が見通しをもって追究活動（発表会に向けての計画・準備）ができるように、ワークシートに簡単に4つのことを書くようにする。また、グループでの協力の大切さやきまりなどについても簡単に指導する。</p> <p>1人が2つのグループにまたがっている子どももいるので、片方だけにならないように時々注意して見守りたい。</p> </div> <div data-bbox="1305 757 1422 786" style="text-align: right;">（15分）</div>	
<div data-bbox="110 882 481 952"> <h3>それぞれの追究活動 （発表会に向けての準備）</h3> </div> <div data-bbox="1109 862 1189 940"> </div> <div data-bbox="1220 862 1300 940"> </div> <div data-bbox="1348 907 1444 936" style="text-align: right;">T 1 T 2</div> <div data-bbox="140 1003 1013 1503" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>朝の学級活動で発表会に向けての目標を一人一人たて、発表への活動意欲が高まるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すらすら読めるように頑張る。 ・手話の発表を頑張る。 ・大きい声ではっきりと言いたい。 ・大きな声で発表することをがんばりたいです。 ・劇を頑張りたいです。 ・プロジェクターを失敗しないようにしたい。 ・大きな声でみんなに聞こえるようにする。 ・大きな声で言いたいです。 ・僕は、はっきり大きな声で言えることを頑張ります。 ・間違えてもいいからやる。 ・ナレーターで大きな声でやるので頑張ります。 ・私は、大きな声ではっきりと言いたいです。 ・恥ずかしがらないで大きな声で発表したいです。 ・劇を大きな声でみんなの前ではっきり発表したいです。 </div> <div data-bbox="1070 981 1497 1368" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【 】 楽しく発表の計画や準備に取り組みようとしている。</p> <p>【 】 学習した成果をわかりやすく伝えるにはどのように発表したらよいか、自分なりに考えることができる。</p> <p>【 】 わかりやすい発表を工夫するために、発表の計画や準備ができる。</p> <p>【 】 聞く人に訴える発表をするために、自分なりに方法や内容の工夫を考えることができる。</p> </div> <div data-bbox="1342 1491 1465 1520" style="text-align: right;">（80分）</div> <div data-bbox="135 1608 239 1709"> </div> <div data-bbox="534 1529 630 1630"> </div> <div data-bbox="247 1693 600 1839" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>職場見学の劇が大変だけど、最後のまとめの担当だからそれもしっかり準備しておこう。</p> </div> <div data-bbox="651 1641 1283 1877" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>職場見学でわかったことがわかりやすく伝えるように、劇の発表を上手に出来るよう練習しよう。 指文字や手話の発表だから、しっかり練習するぞ。 プロジェクターの係は、みんなの発表に合わせて操作しなければならないから、大変だぞ。</p> </div>	
<div data-bbox="98 1921 188 2011"> </div> <div data-bbox="204 1910 794 2029" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>本時だけでは準備が終わらないので、発表会に向けてどんなことをしたらよいか自分自身で見通しがもてるように2つのしを書く。</p> </div> <div data-bbox="1197 1921 1286 2011"> </div> <div data-bbox="1324 1928 1417 1957" style="text-align: right;">T 1 T 2</div> <div data-bbox="1353 1973 1437 2002" style="text-align: right;">（5分）</div>	

第25時 ふるさと学習発表会

活動の概要

ふるさと学習発表会は学校行事とのかかわりで行う。発表時間は15分である。それ以外の時間では、休憩時間中に手話コーナーなどを作って、手話に興味のある人を対象に、ビデオなどが見られるようにしたりしたい。

<p style="text-align: center;">予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い（発言・ つぶやき）</p>	<p style="text-align: center;">評価の方法・目的 【4観点】（時間）</p>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">T 1</p> <p style="text-align: center;">いよいよ発表だ。今までの成果をしっかりと発揮出来るように、自分の目標を最後に見直してがんばろう。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>発表会に向けてきめた一人一人の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すらすら読めるように頑張る。 ・ 手話の発表を頑張る。 ・ 大きい声ではっきりと言いたい。 ・ 大きな声で発表することをがんばりたいです。 ・ 劇を頑張りたいです。 ・ プロジェクターを失敗しないようにしたい。 ・ 大きな声でみんなに聞こえるようにする。 ・ 大きな声で言いたいです。 ・ 私は、はっきり大きな声で言えることを頑張ります。 ・ 間違えてもいいからやる。 ・ ナレーターで大きな声でやるので頑張ります。 ・ 私は、大きな声ではっきりと言いたいです。 ・ 恥ずかしがらないで大きな声で発表したいです。 ・ 劇を大きな声でみんなの前ではっきり発表したいです。 </div>	
<p>発表本番</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発表スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今までの学習活動の全体的な説明 2. おぼえた手話や指文字の発表 3. さんの職場見学を劇で発表 4. 手話による歌「翼をください」1番 5. 学んだこととこれからのこと </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>T 1が全体的に舞台袖で子どもたちの活動を支援する。T 2はプロジェクターの場所でプロジェクター系の支援につく。</p> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right;">T 1 T 2</p> <p>【 】 楽しく発表の計画や準備に取り組める。</p> <p>【 】 学習した成果をわかりやすく伝えるにはどのように発表したらよいか、自分なりに考えることができる。</p> <p>【 】 わかりやすい発表を工夫するために、発表の計画や準備ができる。</p> <p>【 】 聞く人に訴える発表をするために、自分なりに方法や内容の工夫を考えることができる。</p> <p style="text-align: right;">（ 1 5 分 ）</p>
<p>発表会事後</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">   <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 80%;"> <p>発表のビデオ映像を見たりして、ワークシートによる自己評価や相互評価をしたい。また作文なども書き、身についた力などの実態把握をしたい。保護者からの外部評価なども取り入れられるように、発表会の感想などの協力をいただけるようにする。</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: right;">T 1 T 2</p> <p style="text-align: right;">（ 2 0 分 ）</p>